

<エンシェントブリックFについて>

○エンシェントブリック仕上げは、通常、左官業者がコテで仕上げる施工仕様を標準としています。しかし、施工現場によっては、コテでは作業効率が悪く、コストアップになるという理由から、塗装業者に吹き付けで施工させるケースも増えています。

ここでは、エンシェントブリック仕上げを吹き付けで施工する場合の“エンシェントブリックF（吹き付け）仕上げ”施工の手引きを作成しました。エンシェントブリック仕上げを塗装業者が施工する際に活用下さい。

<注意>

※エンシェントブリック仕上げの塗り板見本は、すべてコテ仕様で作成しています。吹き付け仕様で施工する場合、見本板と仕上がりが若干異なる為、注意するよう説明して下さい。

このページは、印刷しないで下さい。
2ページ目から印刷して、提出するようお願い致します。

インシントブリックF（吹き付け）仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成 18 年 3 月【初版】

平成 23 年 11 月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

＜使用材料＞

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1 液型透明シーラー	16kg/缶	約 80～106 m ²
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1 液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75～100 m²</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1 液水系がオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80～106 m²</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> (<u>ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ</u>) <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> (<u>△…英字、○…数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上り塗材	20kg/ 缶	約 6 m ² /缶
骨材	JF-7	寒水石(白竜)7 厘	20kg/袋入り	約 28 m ²
	JF-5	寒水石(白竜)5 厘	20kg/袋入り	約 28 m ²

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃～10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20～25 m²/セット)

＜主な施工道具＞

- ・ リシンガン 口径φ 4 ～ 6 mm
- ・ スタッコガン 口径φ 1 0 ～ 1 2 mm
- ・ スチロールゴテ (スタイロフォームのような発泡スチロールでも可)
- ・ 仕上げコテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)

＜下地調整＞

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

＜エンシエントブリックF（吹付け）仕上げ施工方法＞

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 6 0	1 6 k g
塗 布 量	0. 1 5 ~ 0. 2 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410 の場合

<u>配 合</u>	<u>J S - 4 1 0</u>	<u>1 5 k g</u>
<u>塗 布 量</u>	<u>0. 1 5 ~ 0. 2 k g / m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

1" JS-800 の場合

<u>配 合</u>	<u>J S - 8 0 0</u>	<u>1 6 k g</u>
<u>塗 布 量</u>	<u>0. 1 5 ~ 0. 2 k g / m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3 時間以上 4 8 時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	J Q (W) - 6 5 0 シ-ズ	2 0 k g
	清 水	2 ~ 3 リットル
塗 布 量	0. 9 k g / m ²	
吹 圧 力	5 ~ 7 k g f / cm ²	
施工道具	リシンガン 口径 4 ~ 6 mm	

J Q (W) 6 5 0 - 2 1 - 0 1
(J Q (W) - 6 5 0 インシントブリックF)

夏期 4 時間以上

冬期 1 2 時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	J Q (W) - 6 5 0 シリーズ	2 0 k g
	寒水石 7 厘	8 k g
	寒水石 5 厘	8 k g
	清 水	1. 5 ~ 2 リットル
塗 布 量	約 4. 0 k g / m ²	
施工道具	スタックガン 口径φ 1 0 mm	
	吹圧力 5 k g f / cm ²	
	小さい玉を詰めて吹き付ける。その後、 金ゴテで平滑に押さえるとパターン付け の際、ジョリパットが剥がれにくい。	

追いかけ (5 分以内)

4. パターン付け

- ・ スチロールゴテを円状に動かし、骨材がランダムに
転がった跡をつける。(図 - 1)
- ・ スチロールゴテに付着したジョリパットは、濡れウエ
スやブラシなどで洗い、常にきれいに保つ。

追いかけ (5 分以内)

5. 押さえ (仕上げ)

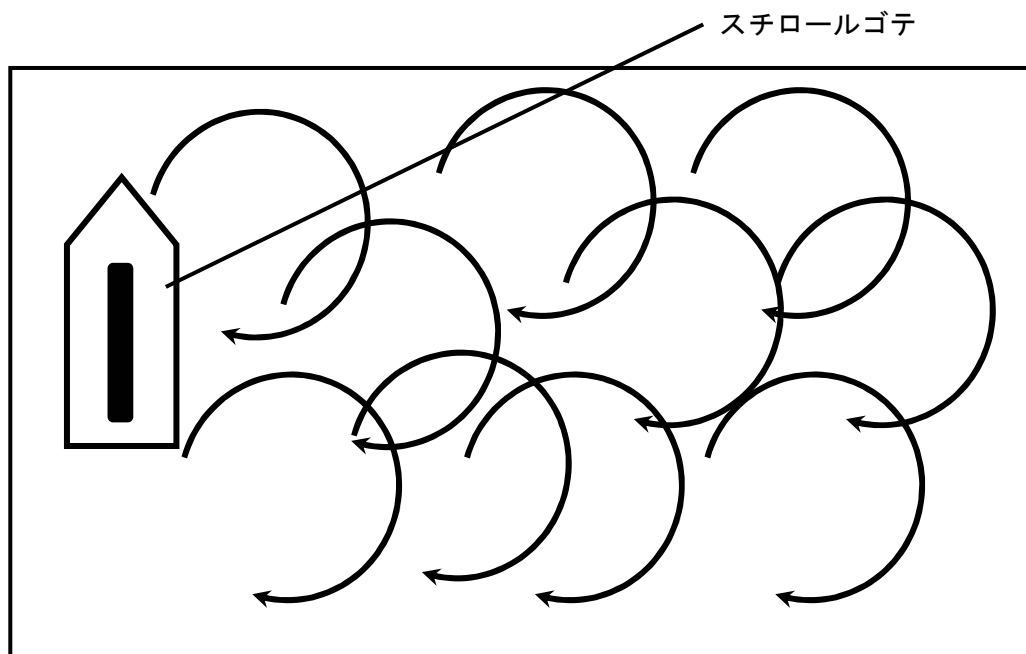
- ・ 仕上げゴテを円状に動かし、平滑に押さえる。
(図 - 2)

＜施工のポイント＞

- ・スタッコガンで吹き付けを行う際、粒を詰めて吹く。
- ・スチロールゴテを円状にランダムに動かし、寒水石が転がるようにパターン付けを行う。(図－1)

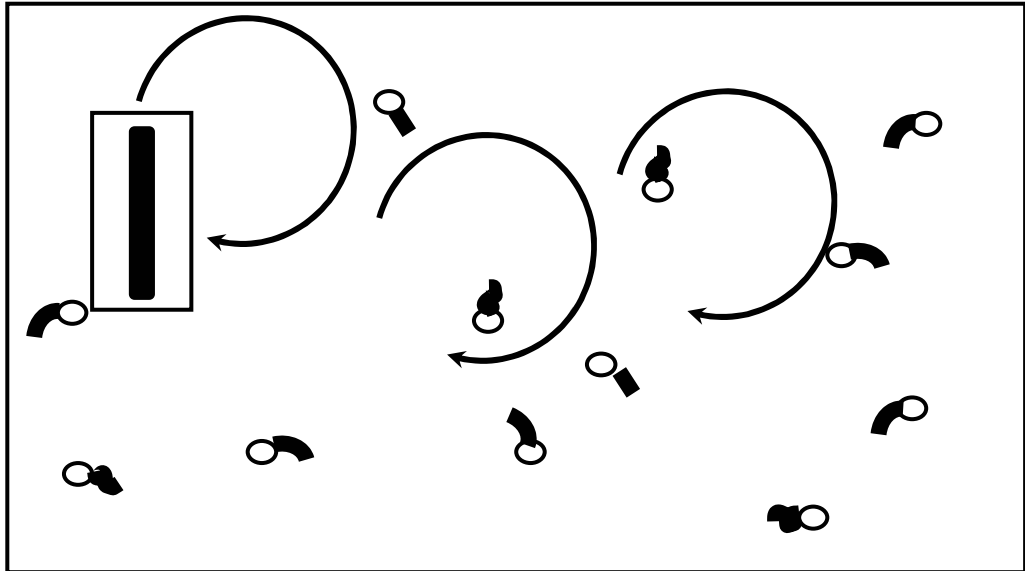
※ J Q(W)－6 5 0 が壁から多く落ちてしまう場合は、金ゴテで一度、平滑に押さえると壁面に密着し、材料は落ちにくくなります。

- ・骨材が転がりにくい場合は、スチロールゴテをきれいに洗淨してから、パターン付けを行う。



図－1

- ・仕上げゴテ（波消しコテ）を円状に動かし、骨材が転がってできた凸部を平滑になるよう押さえる。（図－2）



図－2

＜施工の注意事項＞

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上